

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】令和 3 年 1 月 21 日 (2021.1.21)

【公表番号】特表 2020-502747 (P2020-502747A)

【公表日】令和 2 年 1 月 23 日 (2020.1.23)

【年通号数】公開・登録公報 2020-003

【出願番号】特願 2019-531784 (P2019-531784)

【国際特許分類】

H 0 1 R 4/64 (2006.01)

D 0 3 D 1/00 (2006.01)

D 0 3 D 15/67 (2021.01)

D 0 3 D 15/533 (2021.01)

D 0 4 C 1/02 (2006.01)

D 0 4 C 1/06 (2006.01)

H 0 1 R 43/00 (2006.01)

H 0 2 G 3/30 (2006.01)

H 0 2 G 3/04 (2006.01)

【F I】

H 0 1 R 4/64 D

D 0 3 D 1/00 Z

D 0 3 D 15/02 A

D 0 3 D 15/00 1 0 1

D 0 4 C 1/02

D 0 4 C 1/06 Z

H 0 1 R 4/64 C

H 0 1 R 43/00 D

H 0 2 G 3/30

H 0 2 G 3/04

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 12 月 7 日 (2020.12.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 5】

壁 1 4 は、編組、編み、好ましくは織りを含む任意の好適な機構を介してインターレースされ得る。これに関係なく、モノフィラメントおよび/またはマルチフィラメントを含む、用いられるヤーンの少なくともいくつかまたは全体は、その全体が参照によりここに組み込まれる、2 0 1 2 年 1 0 月 9 日に発行された共通所有の米国特許第 8 , 2 8 3 , 5 6 3 号に開示されるような、金属コーティングされたヤーン、金属ワイヤ、および伝導性フィラメントとともに提供されるまたは撚られる非伝導性フィラメントを含むハイブリッドヤーンなどの、導電性フィラメントとして提供されてもよい。さらに、ヒートセット可能なヤーンが壁 1 4 にインターレースされ得ることが考えられ、たとえば、織られた、編まれたまたは編組された構成で、縦糸ヤーンは一方の端部 1 6 から反対側の端部 1 8 まで長手方向に延在して、対向縁部 2 0 , 2 2 が自動的に互いに重なる関係に付勢されるように、壁 1 4 が自己巻付き壁 1 4 になるようにヒートセットされることを可能にする。壁 1 4 は、ストラップとも呼ばれる平坦なテープまたは条片として構築されることが認識され

るべきである。壁 14 の長さ ( L ) は、両端部 16 , 18 間に延在する縦系方向によって規定される。壁 14 の幅 ( W ) は、対向縁部 20 , 22 の間に延在する横系方向によって規定される。したがって、壁 14 は、連続的なインターレースプロセスで作製され得、用途に応じて、壁 14 の長さは、必要に応じて、所定の長さに切断され得る。言うまでもなく、縁部 20 , 22 は、緩んだヤーンまたは切断端部を有しないようにインターレースプロセスで形成され、したがって望ましくないほつれがない。